

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 30 年 2 月 19 日		受理者印
午前 午後		11時15分受理 
議会名	平成 30 年 第 1 回 佐野市議会定例会	
発言者	議席番号 18 番 氏名 鶴見 義明	
答弁を求める者（選択してください）	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長	
質問方法（いずれかを選択してください）	一問一答 ・ 一括質問一括答弁	
大項目（質問項目） 中項目（質問細目）	小項目（具体的な質問内容）	
1. 市民病院について (1) 療養病棟の休棟について	①突然の療養病棟の休棟に至った経過についてお聞きしたい。 ②市は休棟の報告を受けてどのような対応をしたのかお聞きしたい。 ③4月から休棟ということだが実質はもっと早まることになるかと予測されるが、それはいつとみているのか。 ④入院患者の転院について、現状はどうなっているのか、また全員転院完了の見通しはどうか。 ⑤早期の再開を求めるが、見通しについてはどうか、また再開した場合、一度転院した患者の受け入れ態勢はあるのか。 ⑥療養病棟を閉鎖しなければならない以上の看護師が退職とのことであるが、他の病棟や外来診療に影響はないのか。	
(2) 当初の職員等への意向調査について	①医師、職員、看護師の95%が新法人になっても勤めたいという事前の意向調査と違った結果になっているが、市はこの結果をどのように見ているのか。 ②退職職員の状況について、職員や看護師の退職者数、さらに退職理由を定年なのか、中途なのかを分けて説明いただきたい。 ③このような多数の退職者が出た原因をどう見るのか。	

(3) 資産の譲渡、貸与について	①平成30年4月1日から3年間無償貸与としているが、公共物貸出しの規定で換算すると土地、建物でどのくらいの試算になるのか。 ②土地、建物の簿価は以前明らかになっているが、不動産としての評価額はどのくらいになるのか。 ③今回の資産の無償譲渡、無償貸与は地方自治法、および地方財政法の条文とどのように整合性を持つのか。
2.所有者が所在不明の土地について	①所有者が亡くなった場合、次の納税義務者をどのように設定しているのか。 ②所有者が所在不明の土地が発生する原因をどのように考えるのか。 ③市における所有者が所在不明の土地はどのくらいあるのか。 ④市の事業等で所有者が所在不明の土地による影響があった事例はあるのか。 ⑤空家対策特措法では特定空家に対し、解体等の代執行ができることになっているが、土地も収用できるのか。